

## 手賀沼通信(第312号)

Eメール : nittay@jcom.home.ne.jp  
<http://jfn.josuikai.net/semi/koyukai>

<http://ynitta.cocolog-nifty.com/blog/> 新田良昭  
<http://tegatu2.web.fc2.com>

今月は手賀沼通信ブログからの抜粋です。

### 手賀沼通信ブログ抜粋

#### アシナガバチの巣を駆除してもらった(N.O. 1741)(令和5年9月14日)

2023年9月13日蜂バスターズに依頼してわが家の庭にできていたアシナガバチの巣を駆除してもらいました。100匹はいたと言われました。思わず身震いでした。



この夏になって我が家に蜂が多く飛んでいました。毎年見かけていたのであまり気にしていなかったのですが、庭の手入れをしている妻から、今年は多いと聞かされました。一度追いかけられたので逃げたと言っていました。

9月12日妻が庭に置いている道具入れの陰に蜂が出入りしているのを見かけました。どうもそ

こに巣があるのではないかと言うのです。

確かに部屋の網戸越しに見ていると、道具入れと敷居の間に2匹くらいの蜂が出入りしています。隙間が小さいのでよく見えません。小さな巣があるのでないかと考えました。ところが駆除の様子を見ると、白い箱の左側面に大きな巣が張り付いていました。



妻は業者に蜂の巣を取ってもらった経験のある長女に電話してそのいきさつを聞きました。我孫子市推薦の業者があるとのことで、妻がネットで調べて蜂バスターズに駆除を依頼したのです。

私は小さな巣なら蜂駆除用のスプレーで対処できるのではないかとウェルシアでスプレーを購入しました。スズメバチではなくアシナガバチとみていたのです。

でもあの蜂の大群をみたら自分でやらなくてよかったです、業者に頼んでよかったと思っています。素人がやったら10カ所以上は刺されたよと言われました。プロはしっかり防護服を着て刺されないようにしていました。

駆除料は1万2千円でしたが決して高くはないと思います。

終わった後巣のあった場所にハチ取りようの段ボールを残していました。出かけている蜂が戻ってくるからです。翌朝見てみると2匹張り付いていました。



## 朝ドラ「らんまん」は面白かった（N.O. 1746）（令和5年10月1日）

2023年9月29日朝ドラ「らんまん」が終わりました。終わったのが残念でした。

牧野富太郎博士とその妻壽衛をモデルとしたドラマで楨野万太郎と妻壽恵子という名前で登場していました。朝ドラは通常女性が主人公となるケースが多いのですが、今回は珍しく男性が主人公でした。

楨野万太郎を演じたのは神木隆之介、壽恵子を演じたのは浜辺美波で私にとっては初めて見る俳優です。とても好感の持てる2人でした。

私は以前は朝ドラは見ていませんでしたが、最近になって熱心に見るようになりました。

「らんまん」は前回の「舞いあがれ」、前々回の「ちむどんどん」に比べても面白かったと感じています。好き嫌いは人によって違うので、あくまでも私個人の意見ですが、面白かった理由は以下のためだったのではないかと思います。

- ・モデルが日本植物学の大家で尊敬される人だったこと
  - ・ドラマの脚本がふざけたところやわざとらしさがなく、まじめに人物を真正面にとらえていたこと
  - ・主人公やその妻を演じた俳優が清潔感と初々しさにあふれていたこと
  - ・花や自然の美しさを表す画面が多くなったこと
- など朝ドラにふさわしいものだったと思います。すがすがしい朝の15分で、毎日次回を楽しみにしていました。

## 大谷選手がMLBのアメリカンリーグのホームラン王に輝く（N.O. 1747）（令和5年10月3日）

2023年10月1日、米大リーグのレギュラーシーズンが終了し、44本のホームランを打ったエンゼルスの大谷選手がアメリカンリーグのホームラン王になりました。

右ひじや腰のけがで最後の27試合を欠場しましたが、2位のガルシアに5本の差をつける結果となりました。大リーグで日本人初のホームラン王です。

1昨年は46本のホームランを打ちましたが、ホームラン王にはなれませんでした。それでも打者と投手での2刀流での活躍が評価され、ア・リーグのMVPを獲得しました。今年もMVPの最有力候補です。

今年はWBCで優勝してWBCのMVPを獲得、ア・リーグのホームラン王となりました。

MVPを獲得すれば大谷にとって今までで最高の年だと言えるでしょう。ひじの手術も無事終わり、来年はシーズン初めから打者としての活躍が期待できます。

ありがとう！大谷選手、来年も頑張って！大谷選手。

## 将棋の藤井聰太さんが8冠を達成（N.O. 1750）（令和5年10月12日）

2023年10月11日、藤井聰太さんが王座戦で勝利し、21歳2か月で将棋の全タイトル8冠を独占するという偉業を成し遂げました。史上初です。

藤井さんは2016年、史上最年少の14歳2か月でプロ入りしました。そしてデビューから29連勝するという歴代1位の記録を残しました。その後も次々と最年少記録を達成しました。

8冠を獲得するまでの歩みです。

年	タイトル	勝敗
---	------	----

- |        |    |      |
|--------|----|------|
| ・2020年 | 棋聖 | 3勝1敗 |
|        | 王位 | 4勝0敗 |
| ・2021年 | 竜王 | 3勝2敗 |
|        | 竜王 | 4勝0敗 |
| ・2022年 | 王将 | 4勝0敗 |

- ・2023年 棋王 3勝1敗
- 名人 4勝1敗
- 王座 3勝1敗

勝ち方が圧倒的な強さを示しています。28勝6敗、勝率は82.4%です。

8冠ということは先に獲得したタイトルも毎年防衛し続けているということです。今までに18回タイトル戦に勝利し、合計63勝16敗の成績を上げました。その若さから今後どんな記録を残し続けるのでしょうか。楽しみは尽きません。

今年は翔平と聰太の年と言えるのではないでしょか。

### **第29回手賀沼エコマラソン（N.O. 1753）（令和5年10月29日）**

2023年10月29日第29回手賀沼エコマラソンが行われました。

昨年はコロナの中での3年ぶりの開催だったため、開会式や沿道での吹奏楽や太鼓の応援は自粛でしたが、今年はコロナ以前のスタイルに戻りました。

参加者は日本全国から約8500人がエントリーしました。コースは柏市と我孫子市にまたがる手賀沼を一周するハーフマラソンです。

ただ前日までの好天と違ってあいにくの雨の中でのスタートとなりました。スタートから約10分後に我が家近くを通ります。例年通りカメラを持って応援に駆け付けました。

雨のせいか応援の人波はコロナ以前ほど多くはありませんでしたが、ランナーは皆さん元気よく走っていました。



市民ランナーの中には、以前は派手な被り物や衣装を着けたり、目立つ持ち物を持って走る人がいたのですが、今回も昨年同様普通のスタイルで静かに走っていました。お祭り騒ぎで走るのは禁止されたのでしょうか。

私も以前は応援の場所を替えて市民ランナーが戻ってくるまで写真を撮っていたのですが、そこまでお付き合いする体力と気力がなくなったため、家の近くで写真を撮って帰ってきました。

### **タイガース38年ぶりの日本一おめでとう（N.O. 1755）（令和5年11月6日）**

2023年11月5日、プロ野球日本シリーズで阪神タイガースがオリックスバファローズを7対1で破り、38年ぶりの日本一を獲得しました。

関西シリーズと言われた今年の日本シリーズは、両チームの頑張りで3勝3敗で7戦までもつれました。おかげで大阪は大盛り上がり、全国に散らばる両チームのファンも38年ぶりの日本一か2連覇かで期待が広がりました。大変面白い日本シリーズでした。

タイガースの岡田監督は、実力は言うまでもありませんが、強運の人です。

38年前にはタイガースの選手でした。ペナントレースで巨人と闘った時のバッククリーン3連発は今でも語り草になっています。1985年4月17日甲子園球場で7回裏、阪神のクリーンアップのランディ・バース、掛布雅之、岡田彰布の3選手が巨人の槇原投手から連続でバッククリーンにホームランを打ちました。私はテレビで見ていました。この年セリーグで優勝し、日本シリーズで西武を破って日本一になりました。

2005年に阪神が優勝した時の監督は岡田監督でした。今年の優勝はそれ以来です。

タイガースの監督、選手、ファンの皆さん、日本一おめでとう。

## おめでとう！大谷選手の2回目のMVP（N.O. 1758）（令和5年11月18日）

2023年11月16日、大谷選手がMLBアメリカンリーグのMVPに選ばれました。大谷選手は2年ぶり2度目のア・リーグのMVPで、2回とも満票で選ばれたのは大リーグ初の快挙となりました。

大谷選手は現在エンゼルスからフリーエージェントとなっており、今後どのチームと契約するかが注目されています。同じロサンゼルスのナ・リーグのドジャースが最有力の移籍先と言われています。

けがの影響で9月3日を最後に欠場しましたが、それまでの成績はア・リーグホームラン王になるなど素晴らしいものでした。

### 打撃成績 ア・リーグ順位

・試合	135
・打率	.304
・本塁打	44
・打点	95
・盗塁	20
・四球	91
・OPS (出塁率+長打率)	1.066
1位	

### 投手成績

・登板	23
・勝敗	10勝5敗
・投球回数	132
・奪三振	167
・防御率	3.14
・奪三振率	11.39
・被打率	.184

二刀流として、2年連続2桁ホームラン、2桁勝利は大リーグ初の記録となりました。

大谷選手の地元奥州市では大盛り上がりです。余談ですが大谷選手が岩手県奥州市、大リーグ

で活躍している菊池雄星投手が岩手県盛岡市、ロッテの完全試合の佐々木朗希投手が岩手県陸前高田市の出身です。野球選手と言えば関東より西の出身選手が有名でしたが、岩手県出身の選手が大活躍しているのは私にとって驚きでした。

閑話休題、大谷選手のさらなる活躍を祈っています。今度はワールドシリーズでのMVPを期待しています。ガンバレ！ オオタニ ショウヘイ

## やったね！ヤング「侍ジャパン」（N.O. 1759）（令和5年11月20日）

2023年11月19日、「アジアプロ野球チャンピオンシップ2023」の決勝戦で、日本の若き「侍ジャパンは」韓国に4-3で勝ち、アジアとなりました。前回の2017年大会に続いての連覇となりました。

この大会の参加資格は24歳以下か入団3年以内の選手で、オーバーエイジ枠として29歳以下の選手3人がメンバーとして認められます。

日本チームは将来の「侍ジャパン」のメンバーとなりうる有望若手が選ばれました。新たに「侍ジャパン」の監督となった井端監督が指揮を執りました。

参加チームは、日本、韓国、台湾、オーストラリアの4か国です。まず総当たり制で各チームが対戦し、1位と2位のチームが決勝戦を戦います。日本は総当たり戦で3勝し、決勝戦は再度韓国と闘いました。

決勝戦は韓国が2点を取って先行しましたが日本が追いつき、タイブレークの延長戦となりました。延長戦はノーアウト、ランナー1、2塁で始まります。

10回表韓国が1点を取りますが、その裏日本が1点を返した後、ツーアウト満塁で、門脇選手（巨人）がサヨナラヒットを打って劇的な勝利を收めました。無敗のアジアとなりました。

MVPには門脇選手が選ばれましたが、全体を通してみると、日本の強さは投手陣にありました。総当たり戦での失点は韓国に1点取られただけ、決勝戦でも10回で3失点でした。日本の強さの伝統はここでも実証されました。今後のWBCがたのしみです。

やったね！ヤング「侍ジャパン」